

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和3年 4月 14日

公表:令和 3年 4月 20日

事業所名 オハナピース入間

		チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令等に遵守したスペースを確保しています。人数が多い時には部屋や活動を分けています。
	2	職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされる職員数、またはそれ以上の職員を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		車いすでも活動できるよう、段差をなくし、スロープを設置しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎朝ミーティングを行い、目標設定や情報の共有、振り返りを行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		今回が初めての評価となります。今後の業務改善につなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所に掲示いたします。現在ホームページ作成中の為、今後はホームページにも掲載いたします。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在はしていませんが、今後必要に応じて導入を検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修を実施しています。外部研修の参加についても推奨しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		半年に1回実施しています。必要に応じて面談を随時実施しております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシートを利用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		個別プログラム、集団プログラムを実施しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月間の予定表を作成し、イベントやレクリエーションが固定しないよう行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		お子さまやご家族のニーズに合わせ、毎日設定しております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		当日のお子さまの状態に合わせ、個別活動と集団活動を行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝ミーティングを行い、当日の職員の動きや、お子さまの状態の情報共有を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後、記録記入時にその日の振り返り、情報共有を行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日記録をとっています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月に一度の評価、個別支援計画の作成のほか、日々のミーティングで話し合いをしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		創作活動や余暇活動等を組合せ支援を行っています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	事業所の責任者等が対応しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	送迎時や電話連絡等で随時情報共有をしております。今後はケース会議等を定期的に行えればと考えております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		医療的ケアが必要なお子さまは現在通所されていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	通所開始前に訪問し情報共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		現在該当者がいませんが、今後卒業生が出た場合には実施していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	必要に応じて児童発達支援センターから助言をいただいています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	障害のない子どもとの交流の場は特に設けていませんが、公園等で自然と一緒に遊ぶ事はあります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	現在はコロナ禍のため中止していますが、開催時には積極的に参加致します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	送迎時や電話連絡等で、随時連絡を行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	面談時にしか行えていない為、相談を受ける機会を多くしていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	ご希望時には随時面談を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	現在は行っていませんが、ご希望がございましたら今後検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	苦情窓口、第三者委員等配置しております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	月1回のおたよりの配布。今後はブログの掲載を行います。
	35	個人情報に十分注意している	○	個人情報が記載されている書類、パソコン等は施錠したロッカーにて管理しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	電話や手紙、場合によっては訪問し意思疎通を行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	現在は行っておりません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		周知しておいます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		内部研修を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在、身体拘束を行わなければならないケースはありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に確認を行い、対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		共有しています。